

横田基地における人員降下訓練の実施について（口頭要請）

令和2年8月20日、北関東防衛局を通じて、「横田基地における人員降下訓練の実施について、令和2年8月24日（月）から8月28日（金）の通常の運用時間帯の範囲で、C-130により実施し、延べ降下人数は100名」との情報が、横田基地周辺自治体に提供された。

横田基地における人員降下訓練では、7月2日の立川市へのパラシュート落下事故、同月7日の福生市へのフィン落下事故と、立て続けに事故が発生している。このような事故は、一步間違えれば人命に関わる重大事故につながりかねず、多くの周辺住民に不安を与えるものである。

については、このような状況を十分に認識されるよう強く求めるとともに、人員降下訓練について次のとおり要請する。

- 周辺住民への不安軽減のため、訓練情報の早期提供を徹底すること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- 訓練従事者に対して、安全の重要性を認識させるとともに、基地外に影響を及ぼさないよう、安全対策に万全を期すこと。特に、使用する航空機及びパラシュート、装備品等の使用機材等の安全確認は徹底して行うこと。
- 必要最小限の機数及び人員での訓練を実施すること。

令和2年8月24日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

青梅市長 浜 中 啓 一